学校番号	115

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	要説世界史 改訂版						
副教材等	アカデミア世界史 ・ 山川　一問一答世界史第２版						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１　教科書・資料集を毎時間持参する。
２　歴史的語句の暗記だけではなく、流れを意識しよう。
３　資料集をこまめに活用し、地図や写真で理解を深めよう。
４　板書事項をノートやプリントに書き取るだけでなく、説明・発問等の内容をたくさんメモしよう。

２　学習の到達目標

イギリス産業革命から帝国主義にいたる歴史を概略的に把握させる。その中で、産業革命の影響について考察させる。また，アメリカ独立革命やフランス革命が近代民主政治に与えた影響、その後の国民国家の形成、ナショナリズム運動、ヨーロッパ諸国による植民地化を学ぶ中で、近現代史以降一体化がさらに進んでゆく状況，現代の世界の成り立ちの背景について具体的に考察させる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	近現代史を中心とする世界の歴史から課題を見いだし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	近現代史を中心とする世界の歴史についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追及する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、我が国の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 小テスト ノート/プリント提出	定期考査 ノート/プリント提出	定期考査 レポート提出 ノート/プリント提出	定期考査 小テスト ノート/プリント提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	第2章②	ヨーロッパ世界の拡大 ルネサンスと宗教改革	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: ヨーロッパ世界の拡大、ルネサンス、宗教改革の意義に関心を高めている。 b: ヨーロッパ諸国の海外との関わり、ルネサンス・宗教改革による中世ヨーロッパ世界からの転換について考察している。 c: 大航海時代の世界地図、ルネサンス期の芸術作品などの資料を活用している。 d: ヨーロッパ世界の拡大、ルネサンス、宗教改革について理解している。	定期考査 小テスト ノート・プリント提出 発問と評価 授業態度
1学期期末	第2章②	主権国家の形成 大西洋世界の展開とアジアへの進出	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: イギリス革命、三十年戦争による主権国家の形成、ヨーロッパ諸国の植民地抗争について関心を高めている。 b: イギリス革命、ウェストファリア体制の意義、アジアの植民地化について考察している。 c: 絶対王政期の国王の写真、アジアの植民地の地図などを活用している。 d: 主権国家の形成・大西洋世界の展開・ヨーロッパ諸国のアジア進出について理解している。	定期考査 小テスト ノート・プリント提出 発問と評価 授業態度

2学期中間	第3章①	産業革命 アメリカ独立革命 フランス革命とナポレオン	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a：産業革命の展開、アメリカ独立宣言、フランス革命の背景・展開、ナポレオン戦争、ウィーン体制とそれに対立する動きに関心を高めている。 b：産業革命の影響、独立宣言の意義、フランス革命とナショナリズムの高揚について考察している。 c：独立宣言、人権宣言などの資料、古典主義やロマン主義絵画などを活用している。 d：産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命、ナポレオン戦争について理解している。	定期考査 小テスト ノート・プリント提出 発問と評価 授業態度
2学期期末	第3章②	ヨーロッパ市民社会の成立 ヨーロッパ諸国の再編 アメリカ大陸の動向 19世紀の欧米文化	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a：1848年のウィーン体制崩壊後のヨーロッパ社会の再編、ラテンアメリカの独立や,合衆国の再編を意欲的に学習している。 b：19世紀後半は産業資本主義が拡大し、国民としての統合が進んだ時代であったこと、ラテンアメリカの独立や、合衆国の再編を、大西洋革命や産業の発展と結び付けて考察している。 c：産業資本主義の発展や国民国家の確立などの資料、アメリカ大陸の地図や奴隷解放宣言などの資料を、適切に活用している。 d：19世紀後半のヨーロッパ社会の特徴、19 世紀における南北アメリカ大陸再編の動きを、ヨーロッパ社会と関連付けて多面的に理解している。	定期考査 小テスト ノート・プリント提出 発問と評価 授業態度

3学期末	第4章①②③	オスマン帝国の動揺と民族の自覚 南アジア・東南アジアの植民地化 東アジアの変容と日本の動向 冷戦の終結	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 東方問題、イスラーム世界の再編、インド・東南アジアの植民地化、列強諸国の中国進出について関心を高めている。 b: ヨーロッパ諸国の進出の背景や、植民地をめぐる対立を考察している。 c: オスマン帝国の改革運動、ヨーロッパ諸国のインド・東南アジア・東アジアへの進出に関する資料を活用している。 d: １９世紀の西アジアの変化と東南アジアの従属化、中国の改革運動、竹島・尖閣・北方領土が我が国固有の領土である歴史的背景などを理解している。	定期考査 小テスト ノート・プリント提出 発問と評価 授業態度

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。